

平成30年度上半期 練馬区地域ケア圏域会議実施状況一覧

圏域	実施日	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討結果
練馬	H30. 10. 25	民生委員、特別養護老人ホーム施設長(福祉避難所)、介護サービス事業者、三療師会、防災学習センター、練馬総合福祉事務所、高齢者支援課、地域包括支援センター	29人	<p>【テーマ】 練馬区の防災について～支援者の視点で～</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の支援者の動き方を情報共有し、課題抽出する。</li> <li>・福祉避難所に関する情報共有を図る。</li> <li>・防災学習センターの講話をもとに、災害の実態等について学ぶ。</li> <li>・練馬圏域で実施された地域ケアセンター会議等の報告を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の安否確認については、民生委員、地域包括支援センター、避難拠点などの確認作業の重複や確認漏れ等が発生しないよう、関係機関の連携が重要であるとの意見があった。</li> <li>・防災学習センターの講話から、災害発生時の身を守る行動(自助)と助け合う行動(共助)の重要性について共有できた。</li> <li>・福祉避難所からは、避難者の受け入れに当たり、本人のADL、疾患等の情報が重要となるため、避難時の持ち出し袋等に情報を入れておいてほしいとの意見があった。</li> </ul>
光が丘	H30. 10. 29	民生委員、光が丘警察署、光が丘消防署、三療師会、社会福祉協議会、危機管理課、区民防災課、福祉部管理課、光が丘総合福祉事務所、高齢者支援課、地域包括支援センター	26人	<p>【テーマ】 防災～要援護高齢者の災害時の対応</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題「防災～要援護高齢者の災害時の対応」をテーマに関係者間で協議を行い、要援護高齢者の支援に関する課題を抽出する。</li> <li>・要援護高齢者の災害時の具体的な対応について、圏域内関係機関の連携を考える。</li> <li>・光が丘圏域で実施された地域ケアセンター会議等の報告を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対応は幅広いため、平時から消火訓練・家具転倒防止などの積み重ねが大事であり、火事の際は被災家屋に誰が住んでいるか等、個人情報の把握は一刻を争うとの意見があった。</li> <li>・災害時の要援護高齢者の安否確認については、民生委員、地域包括支援センター等関係者が、少なくとも誰がいつ安否確認したか、事実がわかるようにしておく必要がある。</li> <li>・避難拠点では、日頃から「災害時安否確認ボード」を外に出す訓練を行っている拠点もある。関係者が避難拠点を核にいかに関係者間で連携できるかが大事だとの共通理解を得ることができた。</li> </ul>
石神井	H30. 10. 15	民生委員、石神井警察署、三療師会、石神井保健相談所、関保健相談所、石神井総合福祉事務所、高齢者支援課、地域包括支援センター	36人	<p>【テーマ】 石神井地域の困難ケースと関係機関との連携</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石神井圏域の高齢者虐待の傾向や困難事例について関係機関との意見交換を行う。</li> <li>・困難ケースの事例を通して、圏域内の関係機関の連携を考える。</li> <li>・石神井圏域で実施された地域ケアセンター会議等の報告を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健相談所から、精神疾患の子と高齢者の世帯の増加に伴い、世帯の在宅生活をどのように支援するかが課題であるとの話があった。</li> <li>・警察署から、男性のための保護シェルターがないため、対応に苦慮している状況が伝えられた。</li> <li>・民生委員から地域包括支援センターに高齢者対応を引き継いだケースについて、その後の情報のフィードバックが無かったとの意見があった。</li> <li>・会議を通じて、石神井圏域の困難ケースの傾向(身寄りのない認知症高齢者・精神障害を持つ子と高齢者の世帯・DVケース)を関係者間で共有し、支援方法について考えることができた。</li> </ul>
大泉	H30. 11. 1	民生委員、石神井警察署、認知症家族の会、陽和病院、三療師会、交通安全課、大泉総合福祉事務所、高齢者支援課、地域包括支援センター	24人	<p>【テーマ】 高齢者の安全運転と免許更新について</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の免許更新の流れや認知機能検査、高齢者講習等について関係者で共有するとともに、高齢者の免許返納について考える。</li> <li>・認知症高齢者等の自動車運転に係る支援方法や課題について、実事例を通じて検討し、関係者間の理解を深める。</li> <li>・大泉圏域で実施された地域ケアセンター会議等の報告を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大泉圏域の地域課題として、公共交通機関へのアクセスが悪い地域や、自家用車等がないと交通不便な地域がある等の意見があった。</li> <li>・高齢者の免許返納については、本人の意向や免許取得に要した時間、経費等を考えた場合、実際には難しい面が多いということが確認された。</li> <li>・認知症高齢者の自動車運転への対応は、警察署や医療機関、自動車販売会社、介護サービス事業者、地域包括支援センター等の連携が重要である。</li> <li>・高齢を理由に免許返納を勧めるだけでなく、高齢者が運転をやめた際の心のケアや代替交通手段、生きがい等を一緒に考え、地域で支えていくことが必要である。</li> </ul>